

みずほCustomer Desk Report 2020/10/07号(As of 2020/10/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.71	1.1789	124.57	1.2996	0.7192
SYD-NY High	105.78	1.1807	124.73	1.3007	0.7209
SYD-NY Low	105.48	1.1732	123.90	1.2864	0.7101
NY 5:00 PM	105.65	1.1734	123.95	1.2869	0.7102
NY DOW	27,772.76	▲ 375.88	日本2年債	-0.130	1.00bp
NASDAQ	11,154.60	▲ 177.88	日本10年債	0.030	1.00bp
S&P	3,360.95	▲ 47.68	米国2年債	0.146	▲0.20bp
日経平均	23,433.73	121.59	米国5年債	0.309	▲2.22bp
TOPIX	1,645.75	8.50	米国10年債	0.733	▲4.48bp
シカゴ日経先物	23,310.00	▲ 135.00	独10年債	-0.5080	0.55bp
ロンドンFT	5,949.94	7.00	英10年債	0.2835	▲0.30bp
DAX	12,906.02	77.71	豪10年債	0.9040	2.00bp
ハンセン指数	23,980.65	212.87	USDJPY 1M Vol	7.65	▲0.15%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.58	▲0.02%
NY金	1,908.80	▲ 11.30	USDJPY 6M Vol	7.43	▲0.05%
WTI	40.67	1.45	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	149.506	2.13	EURJPY 3M Vol	8.00	0.10%
ドルインデックス	93.69	0.17	EURJPY 6M Vol	8.03	0.05%

東京	東京時間のドル円は105.71レベルにてオープン。朝方トランプ大統領の退院報道があるもドル買い円売りの動きは限定的となり、その後105.62まで小幅に下落。もっとも、堅調な日経平均を横目に下値も底堅く、105.66レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.66レベルでオープン。特段の材料もなく小動き。105.52-71円で推移し105.61レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2985レベルでオープン。トランプ大統領退院でドル需要が減る中で立ち上がり1.3007まで買われる。しかし昼前にEU側が英政府の言う今月15日の交渉期限を考慮しない、旨の報道が流れるとポンドは1.2915まで急落。少し戻して1.2953レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	トランプ米大統領がウォルター・リード米軍医療センターから退院し、ホワイトハウス到着後もメディアに対して回復したことをアピールするも、既に織り込み済みのためか市場の反応は限定的で、海外時間のドル円も105円台後半での膠着状態が続く。一時105.78まで上昇する場面もあったが、前日高値(105.79)は上抜けできず、105.61レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、狭いレンジで推移。10時40分にパウエルFRB議長が講演で景気対策について「過剰となるリスクは不足するリスクより小さい」と述べ、米政府による財政支援の必要性を指摘するも、特段サプライズとなる材料も見当たらず、市場は反応薄。午後は「トランプ大統領が景気対策交渉の停止を発表」とのヘッドラインが嫌気され、米株の急落とともにリスクオフの円買いが強まり、105.48まで下落。しかし、リスクオフのドル買いも強まっていることから下値が堅く、終盤には小幅反発し、結局、105.65レベルでクローズ。一方、海外時間のユーロドルは1.18台乗せを試す展開が続く。独8月製造業受注が予想を上回り、ユーロ買いが強まり1.1800をつけるが、滞空時間は短く、1.1766まで反落し、1.1795レベルでNYオープン。朝方は欧州株や米株先物が上げ幅を拡大する動きを眺め、リスク志向のドル売りが強まり、高値1.1807をつけるが、1.18レベルは維持できず、1.1773まで反落する。午後はトランプ大統領の景気対策交渉停止の発表を受けて、リスクオフのドル買いが強まったことから、1.1732まで安値を更新。株安の流れを受けて下落したユーロ円にも圧迫され、終盤も安値圏で上値重く推移し、結局、1.1734レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大谷・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月6日	09:30	豪 貿易収支	8月 A\$2643m	A\$5050m
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	6-Oct 0.3%	0.3%
	15:00	独 製造業受注(前月比)	8月 4.5%	2.8%
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$67.1b	-\$66.2b
	23:40	米 パウエルFRB議長 講演	景気対策「過剰となるリスク」、不足するリスクより小さい	

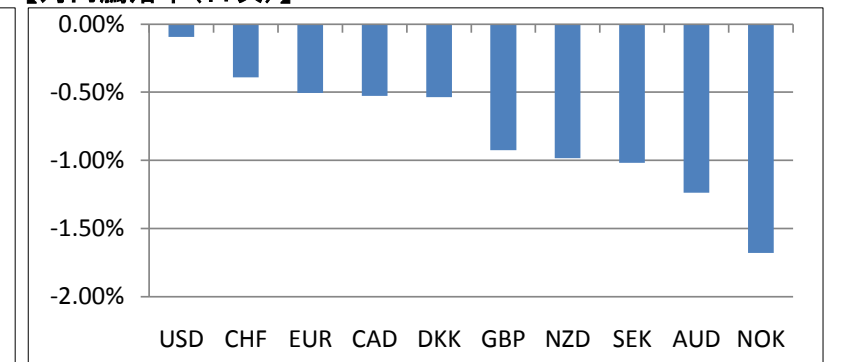
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	8月 79.4	78.3
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 1.5%	1.2%
10月8日	03:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20-106.20	1.170-1.180	123.30-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は105円台後半で小動きの展開。  
東京時間は105円60銭台を中心に値幅は限定的であった。海外時間にはトランプ米大統領が追加経済対策の協議を選挙後まで延期するとしてヘッドラインが流れると、米株価は急落、リスクオフの円買いとなりドル円は105.48まで下落する場面も見られた。しかし、ドルも買われる中下値も堅く、再度105円台後半に戻している。  
本日のドル/円は昨日の流れを引き継ぎ、上値重い展開を予想する。米金利が低下している中、ドル買いが進むとは考えづらく、引き続きトランプ大統領の言動や追加財政出動に関する協議を横目に神経質な相場展開となりそうだ。海外時間にはFOMC議事要旨の公表や複数のFRB高官発言を予定しているものの、昨日のパウエルFRB議長の講演に対する値動きも限られた中、反応は限定的であると考えられる。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		7	14